



(神奈川県平塚市在住)
70代

今回は、聴覚リハビリを通じて、聞こえる生活を楽しんでおられる荒井様ご夫婦にお話を伺いました。

Question 1 難聴の自覚はいつ頃からですか？

徳男様.. 40歳前から仕事でガンガンした大きい音にさらされていて、仕事のあとは毎日キーンと聞こえにくくなっていました。それが続いてだんだん聞こえにくくなり、特に不自由な状態が10年も続いていました。

徳男様.. 職場では「荒井さん〇〇やっておいてね」って仕事を言われて分からないまま「うん、うん」って返事をしてしまい、後で「なんでさっき返事をしたのに仕事ができななんだよ！」って叱られることもありました。

イク子様.. 私は60歳になつたくらいから耳鳴りが始まって、毎晩眠れないくらいでした。これからずっと聞こえるのかしら、どうしようかと思っていました。4年前くらいからテレビの音が大きくなって、同居している孫にも「音が大きいよ！」と叱られていました。

Question 2 聴覚リハビリを申し込んだきっかけは？

娘様.. 二人ともテレビの音量はだんだん大きくなるし、こちらも大きな声で話さないと聞けないし、このままで良いのかと考えていた時にちょうど新聞記事を見つめました。

「聞こえる」のも大事なんですけれどもそれ以上に「脳の活性化」という言葉が私には大事に思えて「もっと悪くなる前に」と思って申し込みました。

イク子様.. まずは私と娘で帝京病院に行ってみました。

徳男様.. 母さんが聞こえるって言っているのを見て「俺も母さんみたいに聞こえるようになりたいなあ(聴覚リハビリ)」行ってみようかな。」と思って娘に連れて行ってもらいました。

Question 3 聴覚リハビリを始めたときはいかがでしたか？

徳男様.. 補聴器をつけると音がたくさん入ってきて、音に敏感になった感じがしました。それまでは本当に聞こえてなくて静かでしたから、補聴器をつけてみる前は、補

溶接の仕事を現役でされています。
■補聴器装用歴5か月※

荒井 徳男様 荒井 イク子様

専業主婦
■補聴器装用歴8か月※
※使用歴はリハ開始時から

担当者コメント

帝京大学溝口病院の聴覚リハビリテーション外来を通じて荒井様ご家族と出会いました。もともと前向きなお二人でしたが補聴器をつけることで更に表情が明るくなっていました。お話を伺って補聴器を受け入れるまでに葛藤があったり、色々な音が聞こえることで日常の何気ないことが楽しくなったりすることを教えていただき、改めて補聴器販売の仕事に誇りを持つとともにお客様たちのためにさらに研鑽を積み、精進します。



ひめの補聴器センター
川崎高津店
西尾 美保

Question 4 補聴器を使った生活はいかがですか？

徳男様.. 補聴器をつけていけば大変変わったのは、テレビを見ながら笑うことができることです。

補聴器をつける前はテレビのボリュームを大きくしても聞き取れなかったけど、補聴器をしてから笑えるようになりました。

徳男様.. 今年の夏、セミの声が聞こえるのが楽しみにしています。会社の桜の木にセミが来るんだけど、ずっと聞こえなくて「今年はセミ来ねえなあ」って会社の人に言ったら「荒井さん何言ってるんだよ。あんなにジージー鳴いてるじゃないか！」って言われたんですよ(笑)

イク子様.. 耳鳴りもね、補聴器を外すと少し聞こえるんだけど、気にならなくなってきました。

徳男様.. 道端で近所の人と会っても今は話せるようになりました。前は話しかけられると困るからちよつとやりすごしたりしていました。

Question 5 これから補聴器をはじめようと考えている方へ

イク子様.. こんなに聞こえるようになるんだから、補聴器をつけないと、もったいないですね。

徳男様.. 聞こえない人はだんだん元気がなくなります。暗くなっちゃう感じですね。

▼荒井さん夫妻
使用補聴器



二人とも
フォナック社
最新型補聴器使用